資料３－１

ビスフェノールＡ産業の現状

令和８年１１月２０日
関税・外国為替等審議会
関税分科会特殊関税部会
経　済　産　業　省

ビスフェノールAの概要

ビスフェノールAとは

- ナフサ分解により生産されるベンゼン、プロピレンを主原料とし、触媒を用いて合成した白色の固体（顆粒状又は粉末状）。
- ポリカーボネート樹脂、エポキシ樹脂の主要な原料。
- 我が国でビスフェノールAを生産しているのは、三菱ケミカル（株）、三井化学（株）の2者。



【ビスフェノールA】

（写真提供：申請者）

ビスフェノールAの主な用途

- ビスフェノールAは、ポリカーボネート樹脂、エポキシ樹脂を通じて、主に耐食性及び加工性が求められる様々な用途で使用されている。
- ポリカーボネート樹脂（自動車のヘッドランプ、建材、電化製品の筐体、光ディスク）、エポキシ樹脂（飲料用缶内面塗料、車や船舶の塗料）に用いられている。

【用途例】



自動車のヘッドランプ



建材



飲料用缶内面塗料（エポキシ樹脂）

（写真提供：申請者）

ビスフェノールA産業の現状

- ビスフェノールAの国外の主な生産国・地域には、韓国・台湾・中国等がある。
- ビスフェノールAは、耐食性・加工性が求められる多様な製品の原料として川下産業のサプライチェーンを支える基礎素材であり、国内の事業活動と国民生活に欠かせない。
- 国内のビスフェノールA産業は、サプライチェーンの起点として、国内の川下産業の需要に応えた安定的な生産・供給を担っており、自動車・建材・電化製品など幅広い分野を通じて、社会インフラの強靱化に不可欠な役割を果たしている。
- 以上の産業の現状に照らせば、ビスフェノールA産業が国内から撤退した場合には、国内の産業基盤の維持が困難となるおそれがある。

※台湾、澎湖諸島、金門及び馬祖から成る独立の関税地域を「台湾」という。

※中華人民共和国（香港地域及びマカオ地域を除く）を「中国」という。